

収量性に優れたイタリアンライグラス晩生品種「KAIR-12TE」(ダイヤモンド)

「KAIR-12TE」は収量性に優れる晩生品種であり自給粗飼料増産が可能

背景・目的

- ・ 県内のイタリアンライグラス作付面積は13,998ha（麦類混播含む）で、秋冬作面積の約9割を占める重要な飼料作物
- ・ 近年、耐倒伏性や耐病性に優れた品種が育成されており、本県に適した品種の選定が必要

成果の内容

「KAIR-12TE」の特徴

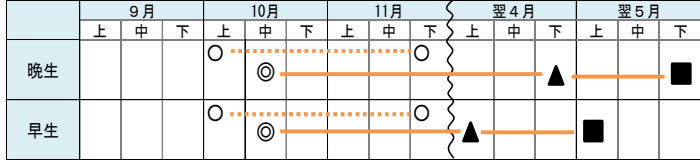
「ヒタチヒカリ」と比較すると

- ・ 耐倒伏性は同程度で強い
- ・ 耐病性は同程度で強い
- ・ 乾物収量は107%と多い



草姿 左「ヒタチヒカリ」、右「KAIR-12TE」

イタリアンライグラス栽培体系例



栽培特性 (R元~3年, 3か年平均)

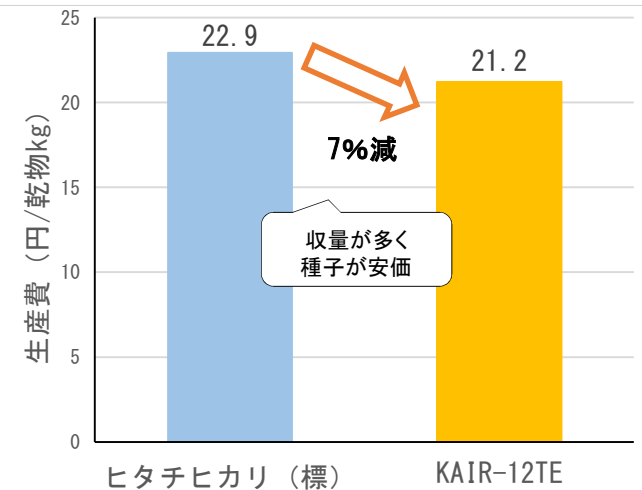
品種	発芽 ¹⁾ 良否	定着時 ¹⁾ 草勢	草丈(cm)		倒伏程度 ¹⁾		病虫害程度 ¹⁾		乾物収量(kg/10a)			乾物収量の 対標準(%)
			1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	計	
KAIR-12TE	8.0	7.7	148 ^b	106	2.2	1.0	1.0	1.0	1,403 ^a	422	1,825 ^a	107
ヒタチヒカリ(標) ³⁾	8.0	7.4	151 ^a	107	2.1	1.0	1.0	1.0	1,298 ^b	414	1,712 ^b	-

注1) 発芽良否・定着時草勢: 1(極不良)~9(極良), 倒伏程度・病虫害程度: 1(無極微)~9(甚)

2) ab異符号間に有意差あり(Tukey法, P<0.05) 3) 九州地区におけるイタリアンライグラスの標準品種

期待される効果

「KAIR-12TE」の生産費 多収による生産コストの低減



○普及対象・範囲
県内の肉用牛農家, 乳用牛農家

鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場
企画環境飼料部草地飼料研究室
日本草地畜産種子協会

(飼料作物等高能力新品種選定調査事業)(R05)